



本のある生活 はじめませんか

あなたは最近どんな本を読みましたか？

テレビやゲーム、インターネットと本以外にも楽しめるものがたくさんある現代社会。

本を読む時間はほとんどないという方も多いのではないのでしょうか？本には他の娯楽では味わえない魅力があります。

今回の特集では本の魅力に触れ、本に親しむ生活環境づくりについて考えてみたいと思います。

読書をするこゝろで豊かな感受性を

現在は、読書以外にも娯楽がたくさんあります。テレビやビデオを楽しんだり、インターネットを利用して簡単に情報を入手することが可能になりました。また、学校から帰るとずっとゲームに夢中になっている子もいるようです。

家庭ですっとテレビがつけっぱなしになっていたりしませんか。日常的にビデオやテレビなどから流れてくる情報に囲まれて生活していると、家族で本と一緒に楽しむ時間はなかなかとれないかもしれません。映像を使った情報は状況を目から、内容を耳から伝えてきます。本を読む言語情報よりも簡単に理解できるのです。しかし一方的な情報発信であるため、想像や推測をせず、平面的に認識してしまうという恐れもあります。

読書は文字を読むことによって情報が知識として蓄積され、それを表現する能力を養います。

また、私たちの豊かな感受性は物語を読むことによって育まれます。特に子どもたちが成長していく段階で、他人の気持ちになって考えることのできる豊かな心を持つ人間となるために、読書には大きな効果があります。

ブックスタート

一読書の

楽しさを伝えたい

地域で活躍する

ボランティアのみなさん



ブックスタートパックには
2冊の絵本が入っています

ブックスタートってなに？

赤ちゃんと保護者に、絵本を開く楽しい体験といっしょに絵本を手渡し、心ふれあうひとときを持つきっかけをつくる活動、それがブックスタートです。

行方市では、保健センターで実施される6カ月健診のときに、対象となる赤ちゃんとブックスタート・パックを手渡します。

赤ちゃんとゆっくりにふれあう

ひとときを

今年度から始まったブックスタートに読み聞かせボランティアとして協力しています。

赤ちゃんはお母さんのお腹にいるときからいろいろな音に耳を澄ませています。赤ちゃん向けの絵本は言葉の繰り返しが多く、美しい日本語を楽しめるものがたくさんあります。意味がわからなくても言葉の響きを楽しんだり、絵をじっと見つめたり、赤ちゃんはお母さんの声と絵本が大好きです。

読み聞かせをとおして一緒に親子があたためたいひとときを持つてくれたらと思います。お父さん、お母さんも一緒に絵本を楽しみむつもりでゆつたりとした気持ちで読んであげてください。



大輪智子さん
ブックスタートボランティア

読み聞かせ

「子どもたちに本の楽しさを知ってほしい」、「本を好きになってもらいたい」そんな想いから、市内のさまざまなボランティアグループが「絵本の読み聞かせ」を通じて、子どもたちに本の魅力を伝える活動を行っています。

昔からの行事や風習も伝えていきたい

現在は図書館で月に一回のお話しのほか小学校や幼稚園、介護施設などで読み聞かせの活動をしています。

9月は『お月見』をテーマに読み聞かせ会を行いました。むかし日本では、十五夜のお月見にお団子を提供して穀物の収穫に感謝しましたが、最近は自宅でお団子を作る家庭は少ないようです。昔からある日本の風習を知らない子どももいるので読み聞かせと一緒に伝えていければいいですね。

長く続けてきたので、最初にわた

したちの読み聞かせを聞いてくれた子はもう子どもがいる年齢。買い物中に『本を読んでくれるおばちゃんだ!』と子どもに声をかけられることも。活動をおしての出会いや子どもたちとのふれあいも続けていく原動力になっています。

子どもは好奇心のかたまりですが、本を買ってただ与えただけではなかなか読んでくれないかもしれません。例えば眠る前に毎晩、本を読んであげる、図書館で一緒に好きな本を選ぶ、本を好きになるのはそういった小さなことがきっかけになります。上手に読もうと思わずに気楽な気持ちで読んであげるといいと思います。



『おはなし玉手箱』のみなさん
高須さん・奥田さん・阿部さん・橋本さん・理崎さん

一上手に利用 してくださいー 図書館に行ってみよう！

図書館には、小説、絵本、料理、歴史、占いなど、さまざまな本があります。例えば、料理の本を借りて子ども達の遠足のお弁当を作る参考にしたり、子どもが好きな本と一緒に読んで話題を共有したり、魔法使いの本を読んで主人公とともにワクワクしたり。たくさん本のなかから自分の心を満たしてくれる本と出会うことはとてもうれしいことです。

苦しいとき、悲しいときにその本を読むと癒されたり、楽しくなったり、心が落ち着いたりします。今まで図書館を利用していなかった人もおもしろそうな本、興味深い本を求めて図書館を上手に利用してみませんか？



開館時間 午前9時30分～午後6時30分
(土日 午前9時30分～午後5時)
休館日 毎週月と祝祭日、年末年始
(蔵書点検のため臨時休館する場合があります)



親子でゆっくり楽しめるインファント（幼児）コーナーとして2階をリニューアルしました！

■まずは、利用者登録を！
本を借りるときには利用者カードが必要です。身分を証明できるもの（免許証や保険証、学生証など）を持って、図書館のカウンターへお越しください。5分ほどでカードを発行します。

※この利用者カードは行方市立図書館のほか、北浦公民館図書室でも利用出来ます。本の貸し出しのときには必ずカードを持っておいでください。



■タッチパネルで簡単検索！

借りたい本をたくさんの中から探し出すのは大変。そんなときは、図書館検索機（OPAC）が便利です。画面に触れるだけの簡単な操作でキーワード、著者名などから探したい本を見つけることができます。

また、機械の操作が苦手という方は職員にお気軽にご相談ください。

■本は何冊まで借りれるの？

市立図書館、北浦公民館図書室で1人併せて10冊（雑誌を含む）まで、貸し出し期間は2週間です。市立図書館で5冊、北浦公民館図書室で5冊というふうに借りることもできます。

■図書館に借りたい本がないときは？

リクエストカードに借りたい本の情報と氏名、連絡先などを記入し、図書館カウンターに出すと、ほかから本を取り寄せるサービスがあります。

※本を探す期間については、ある程度余裕を持って利用してください。

子どもたちにもっとたくさんの本に出会ってほしい！

10月から市内小学校へ図書の配本がはじまります



各小学校にお邪魔します！



たくさん本を選びました

市立図書館では、子どもたちが多くの本と出会うことで、読書習慣の形成につながるよう、児童図書の配本貸し出しを実施します。

市内の各小学校へ絵本や児童書を100冊ずつ1ヶ月、貸し出しを行います。子どもたちがお気に入りの一冊を見つけてくれますように！



伊藤市長

本を読むといろいろな人の人生を体験出来ます。明治維新に活躍した人達の信念を曲げない生き方、志の素晴らしさにはとても感銘を受けました。歴史小説や伝記などをよく読みますが、時代が変わっても人間は変わらない。私利私欲を捨て、ひたむきに努力する姿は落ち込んだときに勇気づけられます。

松下村塾と吉田松陰 / 古川薫
誇り高き若者たち 維新史を走った若者たち



一読書が好きの方に
聞きました一
オススメします！
私の心に残る一冊



山本保枝 さん

なめがた文庫（土蔵屋麻生店内）というリユース本を利用したミニ図書館でボランティアをしています。ぜひ遊びにきてください。

白狐魔記シリーズはキツネが主人公の歴史小説です。読み物としてもおもしろいですが、史実がしっかりと書かれているので大人の方も十分に楽しめる内容だと思います。

源平の風 白狐魔記
斉藤洋 / 作 高畠 純 / 画



宮本拓海 くん

(玉造小4年)

動物が出てくる本や歴史の本が好きです。

今は自分で読むことが多いけれど、小さいころはお父さんがよく寝る前に本を読んでもくれました。この本は家族みんなが大好きな本です。お母さんぎつね、お父さんぎつねがちびを守るために頑張るところに感動しました。読むとつい涙がでてしまう本です。

チロヌップのきつね
たかはしひろゆき / 文・絵



野原みつ江 さん

北浦公民館の図書室を利用しています。昼間は仕事をしたり忙しいので、私にとって夜寝る前に本を読むことは1日のごほうびです。

本を読むと現実とは違った空想やイメージを持つことが出来ます。また、印象に残った言葉はずっと心に残ります。これからも心の栄養として読書が続けていきたいと思っています。

天の瞳 幼年編 I
灰谷健次郎



羽生愛理 さん

(麻生中2年)

本が大好きでいろいろな作品を読みますが、最近はノンフィクションの作品が好きです。この本は何回も読み返しています。

盲人マラソンの元世界記録保持者であり、パラリンピック・マラソンの金メダリスト、高橋勇市。目が見えない、光を失った世界で目標を持って走り続ける高橋さんの姿にとっても感動しました。

夢をあきらめない / 池田まき子
～全盲のランナー 高橋勇一物語～

